

H30.11.30(金)
和歌山県医療審議会配付資料

資料2-2

和歌山県地域医療構想に係る 当面の重点取組事項について

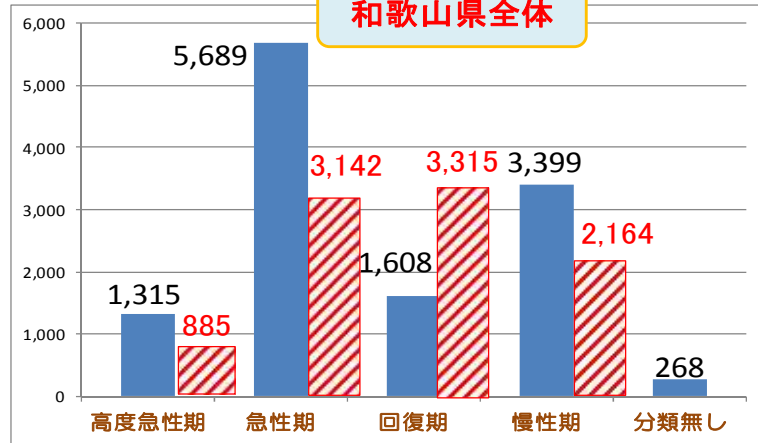
地域医療構想を推進するにあたっての当面の重点取組事項について

- (1) 病床機能報告において「**定量的な基準**」を検討し、病床機能の見える化を図る。
もって、地域における病床機能の分化を進める。
- (2) 「**公的病院を中心とした再編・ネットワーク化**」の検討をさらに進める。本年度は、
まずは重点3圏域（橋本・有田・新宮）を対象とした経営分析等も実施。
- (3) 「**非稼働病床に関する対応方針**」に基づき、平成30～31年度において重点的に、
非稼働病棟（病床）に係る整理を各構想区域において進めることとしており、長期に
わたって非稼働の病棟（病床）については、積極的な廃止を求める。
- (4) 各構想区域ごとの（4機能）バランスの取れた医療提供体制の構築を一層、推進する。
より早期の転換を促進するため、**地域医療介護総合確保基金を活用した補助のあり方
を検討**する。（※下記①②について医療機関あてアンケートにて意見集約中）
【①一定期間、補助基準額を嵩上げ、②当該期間経過後は、段階的に補助基準額を減額】

「2025年の必要病床数」と現状の病床数(棒グラフによる比較)

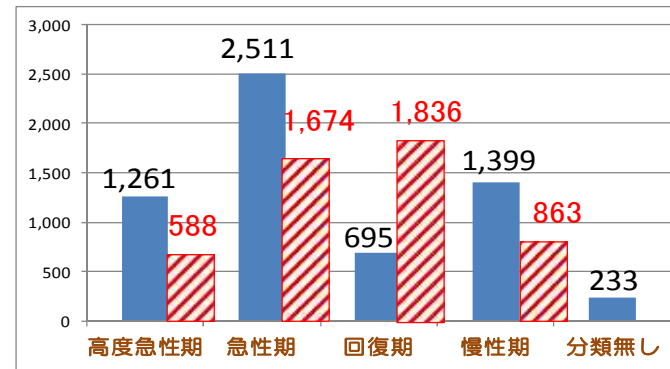
(単位: 床)

和歌山県全体



(単位: 床)

和歌山 構想区域



棒グラフ凡例



2025年の必要病床数

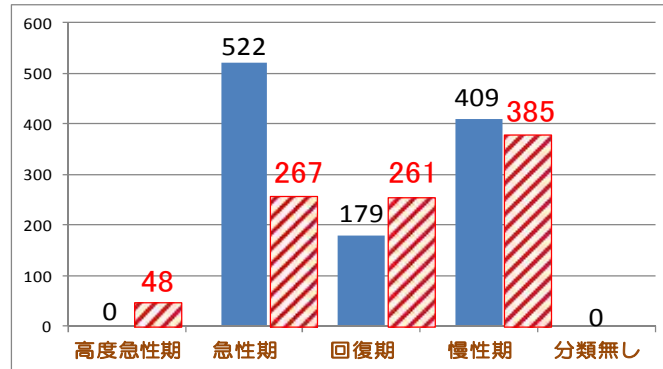


現状 (平成29年) の病床数

(※) 現状の病床数は、病床機能報告
(平成29年7月1日現在) より

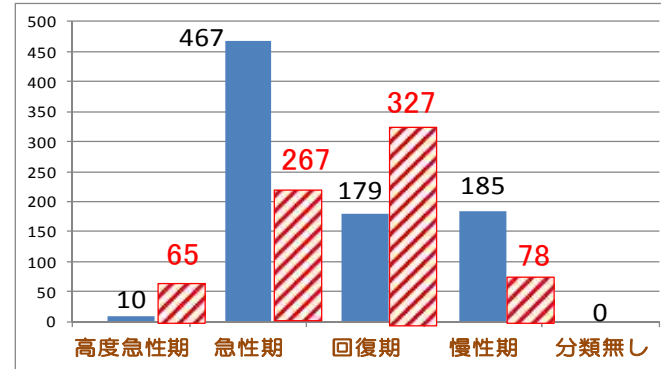
那賀 構想区域

(単位: 床)



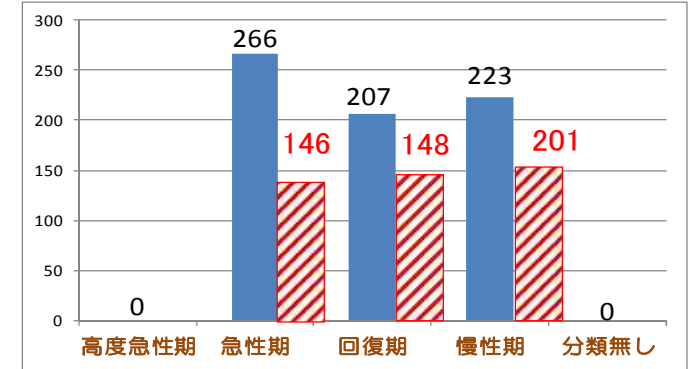
橋本 構想区域

(単位: 床)



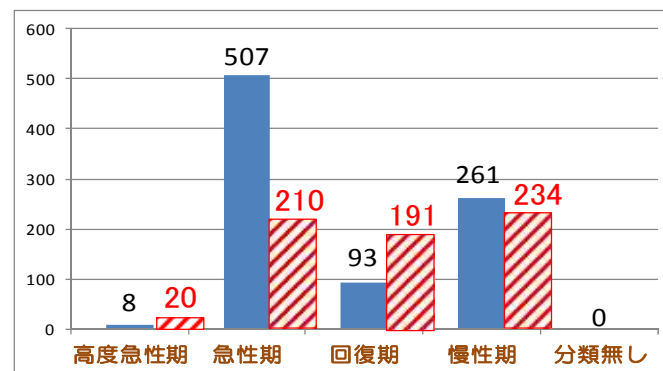
有田 構想区域

(単位: 床)



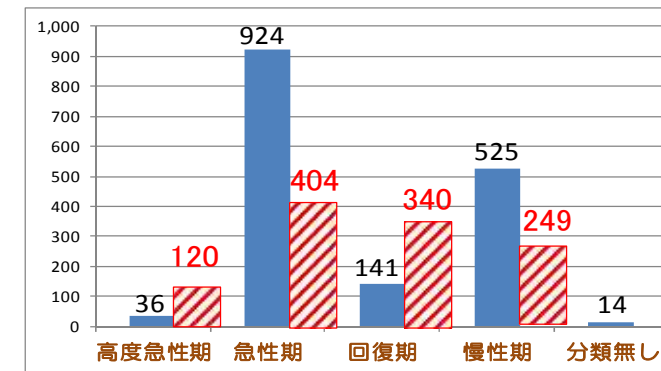
御坊 構想区域

(単位: 床)



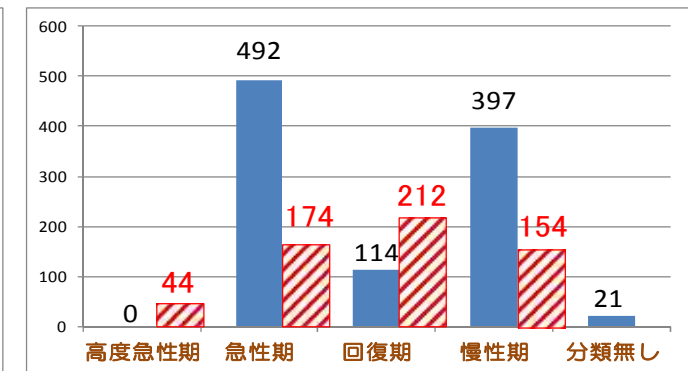
田辺 構想区域

(単位: 床)



新宮 構想区域

(単位: 床)



各圏域における公的病院を中心とした再編・ネットワーク化の方向性(案)

【出典】『地域医療構想と
公的病院のあり方』

(1) 和歌山圏域

- ◆県立医大病院と日赤医療センターを中心とした基幹病院の診療連携
- ◆基幹病院間の医療機能集約と、診療材料の共同購入・高額医療機器の共同利用による経営合理化など

(2) 那賀圏域

- ◆和歌山圏域又は橋本圏域との連携を検討
- ◆公立那賀病院を中心に、民間病院と機能分担・連携

(3) 橋本圏域

- ◆南奈良総合医療センターへの患者流出動向を要分析
- ◆橋本市民病院を中心に、民間病院と機能分担・連携
- ◆紀北分院のあり方（圏域内検討及び大学病院として）

(4) 有田圏域

- ◆有田市立病院と済生会有田病院の機能が重複する現状
- ◆両病院の建て替え機会を捉え、機能分担を整理

(5) 御坊圏域

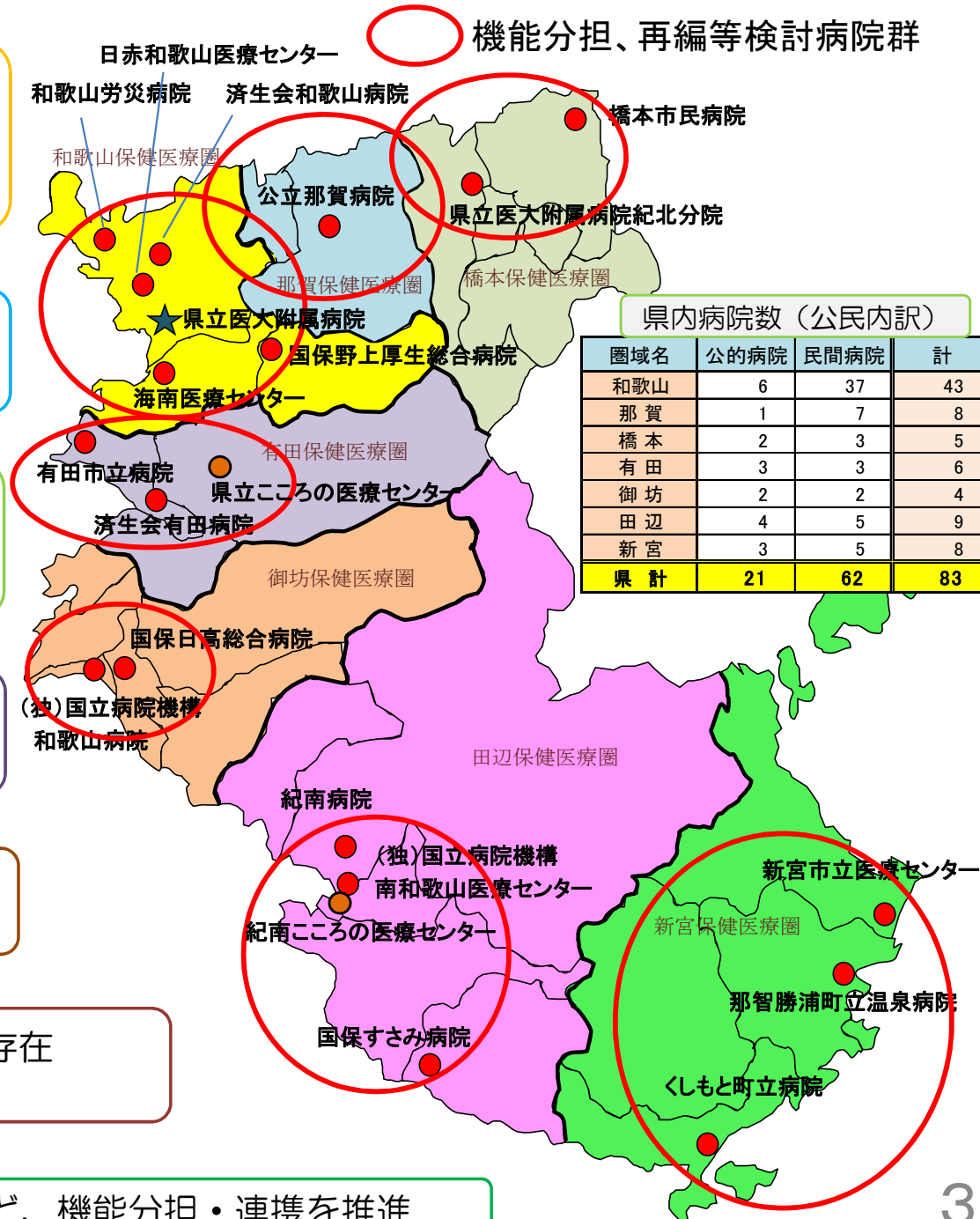
- ◆病院機能の分担が比較的なされている現状にあるが、国保日高総合病院と和歌山病院との間の連携を更に検討

(6) 田辺圏域

- ◆紀南病院と南和歌山医療センターが中核基幹病院として存在
- ◆今後、周辺民間病院を含めた機能分担と連携体制を構築

(7) 新宮圏域

- ◆新宮市立医療センターを核にサテライト病院化を図るなど、機能分担・連携を推進



地域医療構想実現のために都道府県知事が 講ずることができる措置（医療法）

	公的病院・診療所	公的以外の病院・診療所
稼働していない病床の削減	命 令	要請→勧告

※稼働している病床については、知事の権限で廃止させることはできない。

	公的病院・診療所	公的以外の病院・診療所
過剰な医療機能への病床転換の中止 病床過多である「急性期・慢性期」へ病床転換しようとする病院に対し、転換を中止させる	命 令	要請→勧告
不足医療機能への病床転換 病床が不足している「回復期」への病床転換を促す	指 示	要請→勧告

上記の命令・指示・勧告に従わない場合

- 医療機関名の公表
- 各種補助金、融資からの除外

- 地域医療支援病院の承認取り消し
- 管理者の変更命令